

# 道の駅施設管理運営 費を負担

平成29年度補正予算のうち、一般会計(第6号)は、道の駅の施設管理運営費の負担金で3000万円などの増額があるものの、年度末の予算整理により5億7349万円を減額し、予算総額56億9112万円とすることを全員賛成で可決しました。

## 質疑

### 道の駅管理運営費の支出の根拠は

**問** (佐藤定男議員)  
まちづくり交流推進費で負担金3000万円の増は、道の駅の施設維持管理経費である。公益的施設で町が管理運営費を負担することのだが、金額の根拠を伺う。

**まちづくり交流課長** 道の駅は公共的施設であり、公共施設の管理運営の原則は自治体が行うとしている。負担金の考え方は、公共的の部分と、まちづくり株式会社为主体的に地域振興施設として物販等をする部分で面積を分けて面積割合で案分率を定めている。産業廃棄物処理や清掃費、機械警備費、電気・上下水道使用量は会社と町で案分をするものと考えてい

る。また、開業初年度で想定外の来場者があり、誘導員等の業務委託費や冷蔵冷凍庫のリース料がかかっている。実際に算出すると3500万円を超えるが、まちづくり株式会社との基本協定で、管理運営に係る経費については年度末に双方が協議することとしている。双方の協議の結果3000万円に合意に至ったものである。

### 道の駅管理運営費の財源の考え方は

**問** (佐藤定男議員)  
3000万円の財源はふるさと振興基金だが、負担金の性格からして、

単年度の支出ではなく、毎年ある程度固定された費用と考える必要がある。基金の取り崩しでは不安定ではないのか。

**総務課長** 一般財源からの支出には馴染まないため、特定財源であるふるさと振興基金からの支出を進めている。

### 固定資産税の償却資産で増額の内容は

**問** (松浦常雄議員)  
固定資産税収入の償却資産2300万円の内容は。

**税務課長** 今回の増額は実績の見込みで積算をしている。当初予算では十分積算できなかった。償却資産は申告書に基づき課税をしているため、あくまでも見込みの上で積算をしているとご理解いただきたい。

## 平成29年度一般会計補正予算(第6号)のおもな内容

### 【主な事業】

- 道の駅の管理運営に係る負担金 3000万円
- ふるさと振興基金への積み立て(貯金) 1116万円
- 除雪業務委託費の不足分 1080万円
- 公共施設整備基金への積み立て(貯金) 1000万円

### 【主な財源】

- ふるさと国見町応援寄付金 3946万円
- 町税 1900万円

### 【予算に計上済みだが、30年度に繰り越す予定の主な事業】

- ◎道の駅の施設改修工事 4789万円
- ◎森林再生に向けた放射性物質対策および森林整備 2932万円
- ◎町道111号線外測量設計業務 669万円
- ◎県北中学校教室等建具更新工事 473万円

## 福島再生加速化交 付金の減額理由は

**問**

(浅野富男議員)

福島再生加速化交

付金で衛生費、農林水産業費、消防費を合わせて1億7758万円減だが、どういった事業のものか。

**保健福祉課 課長**

衛生費では、は放射線対策健

康管理事業での実績と担当する臨時職員等についての減額である。

**産業振興課 課長**

農林水産業費では、ため池放

射性物質対策事業で当初8か所を予定していたが、実施設計発注後に国の対策工の基準が変更となったことから、実施設計の工期を延長したため、国による交付金の決定も1月に入ってから



直売コーナーには町の特産品が並び多くの買い物客で賑わっている

らとなった。繰越ができない事業のため、年度内に完了できる4か所について実施し、4か所は次年度以降となったことからそれに伴う減額である。

**住民生活課 課長**

消防費では、撤去処理事業で、当初11キロメートルで見えていた延長が除染の状況などにより1キロメートルに減ったため減額となった。

## 除去土壌の仮置場への 運搬は完了したのか

**問**

(渡辺勝弘議員)

原発災害対策費の運搬業務委託料で1億379万円減となっている。除去土壌の仮置場への運搬はすでに完了したと判断しているのか。

**住民生活課 課長**

計画と同量を運搬したが、実

施設設計の単価の見直しや現場精査の実績により減額となった。なお、仮置場への運搬は完了している。

## 公立藤田総合病院負 担金で増額はなぜか

**問**

(松浦常雄議員)

公立藤田総合病院

負担金で233万円の増額があるが、どのような性質のものか。

**町長**

国から町を経由して病院に入る特別交付税に上乗せがあったためである。

## 報酬での増額は当 初予算では見込め なかつたのか

**問**

(八島博正議員)

農業委員と農地利用最適化推進委員の報酬の増額は、当初予算では見込めなかつたのか。または事業拡大によるものなのか。

**農業委員会事務局 局長**

年報酬ではな

伴う能率給の増額である。能率給に対する交付金の額が確定し、増額となった分を計上した。当初予算では見込み額を計上している。

## 道の駅で工事繰越 や負担金増がある が運営の見解は

**問**

(八島博正議員)

道の駅の施設改修

工事で4788万円の繰越があるが、6月に補正したのなら年度内にやるべきものではないのか。今回の補正予算では維持管理負担金3000万円の増額もあるが、運営についての見解は。

**まちづくり交流課 課長**

補助事業を受

けている施設なので、農水省、国交省との協議、県の開発許可担当部局との協議があり、12月の補正までに了解を得ていた。急いで工事をするため準備をしていたが、県の建築確認申請部門から課題が示され、その対応により、どうしても着工が遅れることとなり、今回繰越明許に上げた。現在、4月いっぱいには工事が終わる予定で準備をしている。